

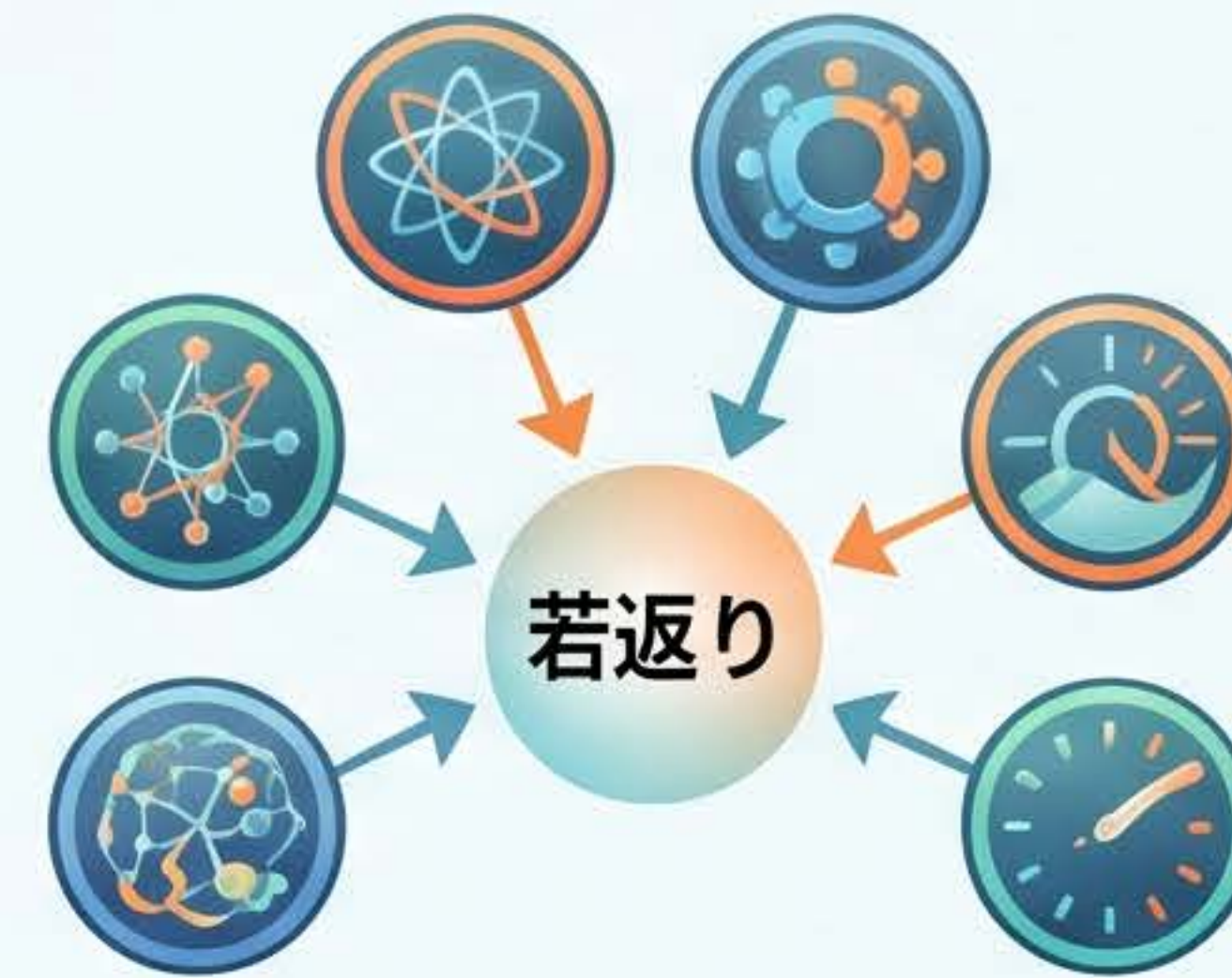
AI創薬「レントセルチブ」：生物学的年齢若返り報告の真相

Insilico Medicine社が発表した加齢バイオマーカーの低下に関する研究成果と、その解釈における重要な限界を中立的に伝える。

主要な研究成果とデータ

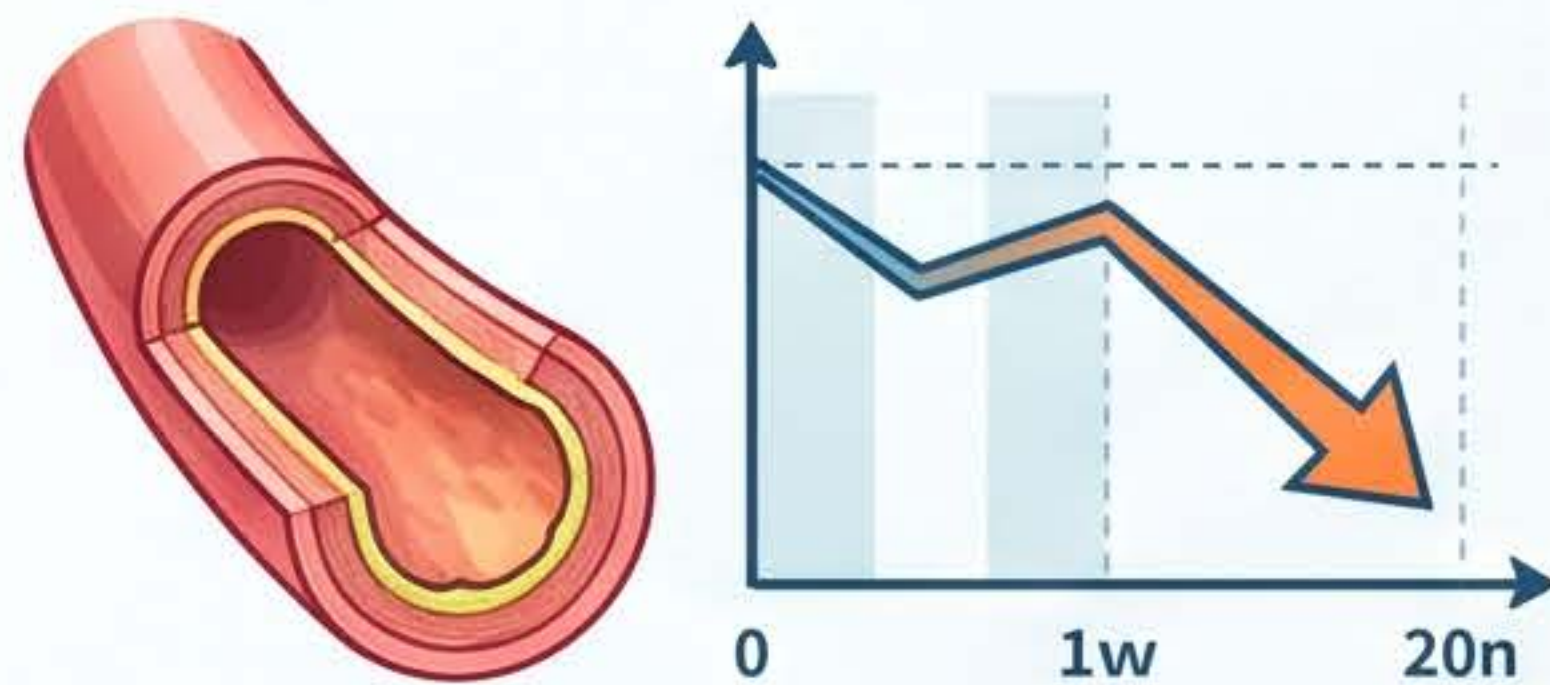


4週間で平均2.7～3.5歳の若返り
30mg 1日2回投与群において、複数の加齢時計で予測年齢の有意な低下が確認された。



6種の独立した加齢時計が一致
手法の異なる複数のプロテオミクス加齢時計が一貫した「若返り」の方向性を示した。

動脈時計で最大16.57歳の低下



臓器別時計では動脈の若返りが最も顕著であり、全投与群でプラセボ比有意な結果となった。

投与量別の主要な加齢指標の変化

	30mg BID	60mg QD	プラセボ
暦年齢型時計 (4週時点)	↓	↓	↑
死亡リスク 型時計	約2.7～3.5歳 低下	2.71～3.46歳 低下	変化なし、 または上昇
	✓ 有意な低下を検出	✗ 有意な差なし	✗ 変化なし

慎重な解釈が必要な理由



参加者はわずか42名のIPF患者
本結果は健康な人間での検証ではなく、重篤な肺疾患患者を対象とした小規模な探索的解析。



「治療」と「抗老化」の分離が困難
肺の線維化が改善した結果が、加齢バイオマーカーの数値に反映されただけの可能性がある。



寿命の延長を証明したわけではない
加齢時計はあくまでバイオマーカーであり、実際の寿命や健康寿命の延長を保証するものではない。